

修了生・卒業生代表謝辞

本日は私達、修了生・卒業生のために、厳粛で立派な式典を挙げていただきまして誠にありがとうございます。

田中学長からの告辞をはじめ、ご来賓の方からのご祝辞を賜り、今日のよき日を迎えることが出来ました喜びを噛みしめています。これから更なる学びの日々に向けて、夢や目標を胸に、それぞれの決意を新たに致しました。

通信教育での学びは孤独であるといわれます。しかし、今ここに132名の私たち修了生・卒業生が、今日の日を迎えることができたのは、決して個人の力ではなく、田中学長をはじめとした教職員の皆様方と大学で出会った多くの仲間と、それぞれの家族など、多くの方々の支えがあったことです。

皆様に心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

私事ですが、思い起こせば11年半年前、家族に大学進学への憧れを話したことから、「ポンと背中を押され」佛教大学の門を叩きました

初めての大学生活は、すべてが刺激的で、「学ぶこと」の楽しさから、充実感、達成感を実感させてくれました。

そして、かけがえのない友に出会うことができましたことは、佛教大学通信教育課程のご縁のおかげといつも心に刻んでいます。

佛教大学通信教育課程の特色の一つとして、学友会があり、履修を進めるうえで困ったことや分からないことがあっても、学習会に足を運べば、そこには助け合える仲間がいて、情報交換する中で、次への履修の「やる気」を得ることが出来ました。私自身、この学友会の存在に助けられた一人であると自覚しています。

先生方はじめ、活動を快くサポートしていただきました大学職員の皆様に、心より感謝いたします。

今後、ますます学友会が、意義深い活動であり続けることを願っています。

感謝の思いは語り尽くせないほどあります。100年の伝統を持つ佛教大学の卒業生であることの誇りを胸に抱き、私たちはこれからも人の役に立つため、それぞれの場所で学び続けることを誓います。

紫野キャンパスリニューアルで、更に素晴らしい教育環境のもと、居心地のいいキャンパスライフを過ごさせていただきました。

本当にありがとうございました。

最後になりましたが、本日、ご臨席賜りました皆様のこれまでのご指導、ご支援に深く感謝を申し上げます。雄たる佛教大学通信教育課程の益々のご発展を祈念し、謝辞といたします。

平成 27 年 9 月 27 日
修了生・卒業生代表
教育学部 教育学科
鍵本幸子